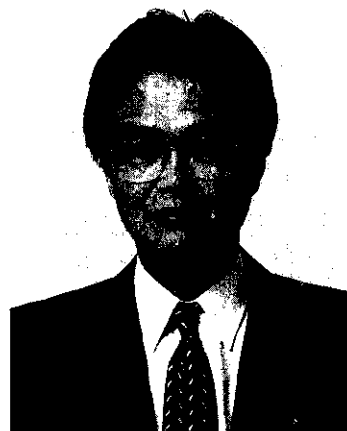


巻 頭 言

棒線セクター長
取締役 木原和彌



鉄鋼製品の中では線材・棒鋼市場は大きく、需要分野も広い産業分野におよんでいる。そのため、品質への要求は多種多様であり、お客様によりそのレベルも大きく異なっている。

21世紀に入り、自動車・IT産業を中心として、線材・棒鋼事業を取り巻く環境も大きく変化しつつある。社会からの要請として、

- (1) 地球規模での CO₂ 排出削減に寄与する材料の開発
 - (2) 有害物質を含まず、産業廃棄物削減に寄与する環境対応材料の開発
 - (3) グローバルスタンダードとなるような世界規格統一製品の開発
- などがあげられ、さらに、その要請への対応を早急に進めなければならない状況におかれている。

当社の線材・棒鋼事業は高級特殊鋼分野を指向し、自動車関連を含めた厳しい品質要求に対応する製造・品質保証体制を整えてきた。

当社はそれらの製造・品質保証体制を確立するために、製鋼から圧延、製品出荷にいたるプロセスの革新を進めてきた。主要な開発成果として、

- (a) 高炉・製鋼の清浄性を生かし、さらに連続鑄造鍛圧設備を中心とした高纯净度鋼製造技術（中心偏析低減技術）の確立
- (b) 製鋼工場と連続化した鋼片工場において、線材・棒鋼製品向けなどに全断面全長品質保証した丸ピレット製造供給技術の確立
- (c) 線材・棒鋼工場において、お客様のいかなる径サイズ要求に対してもロール組替を最小時間で行い、全長高寸法精度品質保証のできる線材・棒鋼サイズフリー 4 ロール圧延技術の確立
- (d) 当社の薄鋼板技術で得意な極低碳素鋼を用い、析出強化により韌性・強度ともに優れた TPCP 技術を応用した非調質棒鋼・製品技術の開発

などがあげられる。

現在、当社の線材・棒鋼生産量は必ずしも多いとはいえないが、今後もお客様に喜んでいただける商品の提供が当社のなすべき責務と考え、当社の特長を生かした独自の高付加価値商品の開発を進めていく所存である。